

# ネオホッケーの町に



協会のエンブレム

## 地元と母校への恩返し！

### 「ネオホッケー」指導者に聴く

坂崎クラブ  
代表 高橋秀樹さん



トヨサカクラブ  
総監督 山本哲寛さん



#### 活動のキツカケ

子ども会の役員となり、練習に参加したのがキツカケで、いまでも指導を続けています。

#### 活動のよろこび

ネオホッケーを通して、楽しみながら「忍耐・努力・思いやる気持ち」を育て、子どもたちの着実な成長を目の当たりにできること。

#### 活動の紹介

小学生55人、一般35人、小学生は、第1・3土曜日の午前中。一般は毎週水曜日夜、坂崎小学校体育館で汗を流しています。

#### 活動のキツカケ

豊坂小学校に赴任して、子ども達に運動の機会をと考え、町の推奨するネオホッケーに取り組みました。

#### 活動のよろこび

目標に向かって努力し、技術と心の成長を感じとれること。また、平成16年に全国優勝した当時のメンバーが、今は指導者として活動していること。

#### 活動の紹介

小学生80人、毎週土曜日の午前中。一般50人、毎週日曜日夕方から、豊坂小学校体育館で練習。

## 全国大会出場は、子どもの大きな自信に！

2015年第4回全国小学校ネオホッケーオープン大会



全国第3位

(高学年の部) 坂崎パワフル



全国優勝

(高学年の部) トヨサカフェニックス

ユニホッケーとは  
ネオホッケーとは

ユニホッケーはユニバールとホッケーを組み合わせた名称。昭和50年代から日本でも普及。アイスホッケーとは異なり体育館の床上で競技する。ネオホッケーは、全国組織の名称。平成24年にユニホッケーとユニホッケーが統合され、ネオホッケーとなった。

幸田町のユニホッケー大会は、年2回開催されている。平成27年12月の参加人数は、小学生、ジュニア、シニア合計で730人。

町内には、上の2クラブがあり、毎年全国大会で大活躍をしています。



チーム構成…男女混合の6人1チーム

試合時間…10分ハーフ

競技場所…体育館

競技道具…スティックとボールのみ。

激しい接触プレイは禁止されています。

もっと身近な議会に

# 住民の 声 を聞く

パート 14



# 幸田町を

## 使命感は、

### 基本は「トラップ・ラン・パス・シュート！」



坂崎クラブのメンバー



トヨサカクラブの練習



町主催のユニホッケー大会

#### 全国大会成績（幸田町のチーム）

- 平成27年度 優勝 坂崎ローリングス 一般
- 平成26年度 優勝 トヨサカクラブ 4年生
- 平成25年度 優勝 トヨサカクラブ 4年生
- 優勝 坂崎パワフル
- 平成24年度 優勝 トヨサカクラブ 5年生
- 平成23年度 優勝 トヨサカクラブ 6年生
- 優勝 トヨサカクラブ 3年生

### 「夢はなに？」…「ずばり、世界大会出場！」

嬉しかったこと	①全国大会に行けた ②試合で得点できたとき ③褒められたとき ④チームプレイ
辛かったこと	①得点できないとき ②勝てないとき ③試合の緊張感 ④練習
将来の夢	①野球・卓球などスポーツ選手（7人）②医者（2人）③歴史研究家・管制官など好きな職業（7人）④フロアボールで世界大会出場（1人）

### 「議会だよりを見ていますか？」…「ときどき見ています」

使命感	①地元への還元 ②運動の楽しさ人間育成
議会だよりの閲覧	①常に見る（1人） ②ときどき見る（9人）
同感想	①地元や身近な情報記事 ②町の課題や取組記事
行政に望むこと	①総合体育館の設置を（6人） ②子供向けスポーツ施設（2人）

取材協力に対し、お礼申し上げます。

指導…「向上心」を育む

伸ばす→「ほめる」

☆一生懸命やる子

直す→「しかる」

★すぐあきらめる子

小学生に聴く

指導者に聴く

インタビュー・アンケート結果